

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	明光ワークス あいあい・ほくせつ		
開催日時	令和7年11月26日（水）9：30～16：00		
開催場所	明光ワークス本館会議室		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	4	・ 管理者、サービス管理責任者（3名）
	入居者	1	
	入居者ご家族	3	
	地域の関係者	2	・ みのお笑顔の会（地域住民）
	福祉に知見を有する方	1	
	経営に知見を有する方	1	・ 市内障がい福祉サービス事業所管理者
	市町村担当職員	1	
議題	（1）主催者挨拶・地域連携推進会議の目的		
	（2）出席者紹介		
	（3）明光ワークスの概要・説明		
	（4）グループホームの取り組みの説明		
	（5）質疑応答		
	（6）グループホーム見学		
	（7）見学後の意見交換		
	協議内容・ 意見等	（1）～（4）略	
（5）質疑応答			
質問1：精神障害の方の支援はどうしていますか？			
回答1：様々な配慮が必要な方がいらっしゃるので個別に対応させていただいています。 必要に応じて訪問看護のサービスも利用してもらえるように支援しています。 また、自立支援医療の申請など支援もしています。			
質問2：通院の支援はどうしていますか？			
回答2：年齢的にも生活習慣病の方が増えてきて、通院の数も年々増えている状況です。 定期通院については、単独で受診できる人以外は、通院介助で移動支援を利用する ケースが多く、家族に同行を依頼しているケースもあるが、それ以外は、看護師や 支援員が同行しています。緊急かつ突発的な通院については、看護師や支援員で対応 しています。			
質問3：美容院の利用はどうしているのか？			
回答3：個人で行く人やガイドヘルパーでの外出で行かれています。 付き添いはしていません。			
質問4：（入居者に対して）グループホームの生活はどうですか？			
回答4：（入居者）楽しい。食事おいしい。（趣味の）将棋教室にも行っています。			
質問5：食事は一緒に食べているのですか？			
回答5：ホームによってそれぞれですが、基本的には入居者みなさんの帰宅時間がバラバラ なので、どうしても個人単位になっていることが多いです。			
質問6：一か月の費用に差があるのは？			
回答6：府営住宅と民間住宅に家賃の差がありますし、共同住宅タイプとワンルームタイプ でも家賃に差があります。また、男性ホームか女性ホームや入居されている生活スタ			

	イルによって食材料費や光熱水費に微妙に差が出る場合もあります。
協議内容・意見等	質問7：年をとって収入がなくなったら、どうなりますか？ 回答7：親の援助や貯蓄があれば、それを使っていくしかありませんが、それが難しい場合は、生活保護を申請することになる場合が多いです。成年後見人制度を利用して、金銭管理をしなければならないケースも出てくると思います。 質問8：自分で料理をしている人はいますか？ 回答8：日曜日の夕食は、食事提供がないので、その時に自炊している人もいます。火事の心配からホームでは火を使えないので、IHを使用してもらっています。お弁当を作られている人もいます 質問9：ホームでは、同居の人同士や世話人さんとの相性があると思うがトラブルはないのか？ 回答9：どうしても人間同士、相性はあります、共同生活ということで説明し都度、支援員が対応しています。どうしても難しい場合はホーム間での移動など対応を行っています。 意見1：精神障害のある人の暮らしについて、あまり知られていないと感じたのがよかった。しかし、知ってもらいたい部分もあれば、プライバシーの関係で踏み込めない部分もあるので難しい。また、情報がないせいで世間の偏見もあるかもしれない。(地域の関係者) 意見2：キャッシュレスの時代になって電子マネーの使い方やクレジット契約について学校でどう理解させて教えるのか悩んでしまう現状がある。先生個人の対応にも限界があると感じている。(市内特別支援学校校長) →GHでもよく契約者が本人のため、気づいた時には携帯払いなどをしていることが多く、対応に追われています。今後、使用方法やルールなど学校から普及していただけるとすごくいいことだとは感じました。 (6) 略 (7) 見学後の意見交換 ・グループホームはどんな所か、漠然としたイメージしかなかったが、具体的にイメージ出来た。娘にはワンルームタイプが合っていると感じた。(地域の関係者) ・知り合いの家族会の人グループホームを探さないといけないと思っている時にタイムリーに知ることが出来た。金額が具体的に知れて良かった。人と人のつながりの大切さを感じている。(地域の関係者) ・住宅街の中にグループホームがあるのが、驚いた。(障がい福祉課職員) ・娘が住んでいるが、一番良いところを紹介してもらっていると思った。(入居者家族) ・隣にある事業所が、どんな事業をしているのか、よく知らなかったが、今回の話を聞いてBCPで助け合えることもあると感じた。(障がい福祉サービス事情所管理者) ・色々とは見学させてもらって良かった。これからも協力したい。(入居者家族) ・色々なホームが見ることができて楽しかった。(入居者)

